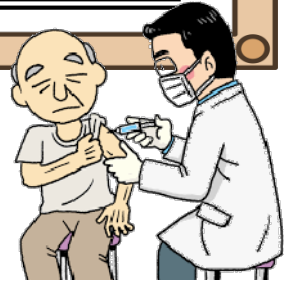


和地ひとみレポート No.389



令和3年 第1回東大和市議会臨時会

国の第三次コロナ対応臨時交付金の活用方法が明かに 一般会計補正予算にはワクチン接種事業も

■第1回市議会臨時会

…4月15日、令和3年第1回市議会臨時会が開かれました。今回、臨時会が招集された大きな理由の1つは、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第3次交付のうちの地方単独分)を活用した事業等について1日も早く対応するためとのこと。臨時会には議決案件3件(専決処分の承認1件、補正予算2件)、報告案件1件(庁用自転車の交通事故による損害賠償について)が議案として提出されましたが、やはり令和3年度一般会計補正予算(1号)については、多くの議員から質疑が出ました。様々な審議ののち、最終的には提出された議案すべてが原案通り可決となりました。

【専決処分の承認:1件】

東大和市税条例の一部を改正する条例

主な改正内容は「土地に係る固定資産税、都市計画税の負担調整措置の延長」。土地の価格の見直しにより税負担が大幅に増加することを緩和させるため、前年度の課税標準額を基礎として、段階的に課税標準額を上昇させる負担調整措置についてはH30年度～R2年度も取られていたが、R3年度からR5年度までの各年度分の固定資産税、都市計画税についても引き続き適用する。そのうえで、R3年度に限り、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、負担調整措置により税額が増加する土地についてR2年度の税額に据え置く特別な措置も講ずる。

→この改正により、今年度、固定資産税は約1,000万円、都市計画税においては約200万円の減収となる。

■補正予算の内容は

…令和3年度がスタートしてまだ1か月も経っていませんが、さっそく、一般会計予算と国民健康保険事業特別会計予算に補正が必要となりました。一般会計予算については多くの事業などに関連して補正が必要となりましたが、国民健康保険事業特別会計予算に補正が必要となった理由は、新型コロナウイルス感染症による傷病手当金の適用期間が「令和3年3月31日まで」から「令和3年6月30日まで」に再延長となり、それに充当するために東京都から100万円の補助金が出たことによるものです。

【新型コロナウイルス感染症による傷病手当金】

東大和市国民健康保険加入の者が新型コロナウイルス感染症に感染した場合、または発熱等の症状があり感染が疑われた場合に、その療養のため労務に服することができなかった期間(一定の要件を満たした場合に限る)、申請をすることにより傷病手当金が支給される。※新型コロナウイルス感染症に感染又は感染が疑われたため、連続して3日間仕事を休んだ期間(待期間)があり、4日目以降の仕事を休んだ日で給与等の全額または一部の支払いを受けていない日が対象。1日当たりの支給額の上限は、30,887円。

…この新型コロナウイルス感染症による傷病手当金は東京都が全額負担する補助金のため、市の負担はありません。今回の都の補助金100万円については、R2年度の東大和市の実績(申請6件、約72万円)を参考に導かれた額とのこと。

…もう1件の大きな補正、令和3年度一般会計補正予算(第1号)には“新型コロナウイルスワクチン接種医療機関等協力金”1,235万4千円も計上されました。これは、5月8日から開始する市民へのワクチン接種に係る費用です。

…ワクチン接種事業以外に補正が必要となった事業の主なものには以下の通り。そのうち国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第3次交付のうちの地方単独分:合計2億6,520万7千円)を充当して実施する事業(=市が活用を決定した事業)には★を明記しました。ただし、事業ごとに国の交付金を充当できる割合が違う、または、他の特定財源も同時に活用して実施する事業もあるため、事業費全額が国の臨時交付金というわけではありません。

◆令和3年度一般会計補正予算(第1号)

補正額:歳入歳出ともに5億521万5千円増

〈歳入の内訳〉

- 国庫支出金:3億5,298万7千円
- 都支出金:1億1,044万5千円
- 繰入金※:4,178万3千円
- ※繰入金は市の財政調整基金(貯金)の取崩し

〈歳出の概要=主な事業の取組概要と予算〉

①国の“低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)”支給事業

7,542万6千円

→ア:R3年4月分の児童扶養手当の支給を受けている者(申請不要)

イ:公的年金等を受給していることにより、令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けていない者 ※児童扶養手当に係る支給制限限度額を下回る者に限る。

ウ:R3年4月分の児童扶養手当は受給していないが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準となっている者

上記ア～イを対象に、児童1人当たり一律5万円を5月中に支給する。

※ひとり親家庭以外の低所得者の子育て家庭に対しては、別途、国が支給を実施する方策を検討中。

(裏面に続く)

②ひとり親家庭等生活支援：食料品提供事業★

1,243万6千円

➡R3年4月分の児童育成手当受給者約980世帯を対象に、お米、缶詰、レトルト食品など保存できる食料品1万円相当を提供する。市の独自事業のため、対象者を児童扶養手当受給者より広げた。市は(株)イトーヨーカ堂と地域活性化包括連携協定を締結しているため、イトーヨーカ堂が事業を実施するが、食料品の費用以外(梱包や発送など)についてはイトーヨーカ堂が無償で協力。

③高齢者ならびに障害者福祉施設の利用者を対象としたPCR検査費用ならびに、高齢者の介護予防活動等の感染予防対策支援の消耗品費(★消耗品費のみ)

2,746万2千円

➡福祉施設での集団検査に対する補助。R2年度は実施する施設が少なかった(実施したのは高齢者福祉施設17施設中3施設:126人、障害者福祉施設37施設中2施設24人)。今年度はより丁寧に説明をして実施件数を増やすように取り組む。

④新型コロナウイルス感染症対策として、各公共施設のトイレの洋式化および蛇口の自動水栓化事業★

1億3,453万5千円

➡市役所本庁舎、市民会館、狭山保育園、児童館、公民館、図書館、小・中学校体育館等のトイレのほか、駅前トイレ、公園のトイレなどを飛沫防止にも有効な蓋つき洋式トイレに整備。また、手洗い用の水道の蛇口を非接触で使用できるように自動水栓化に整備する。トイレについては市内公共施設全体で約90基、自動水栓については約1000基を整備予定。

⑤新型コロナウイルス感染症対策として接触機会減少対策のためのセミセルフレジの導入事業★

1,397万2千円

➡市役所の市民部(課税課、戸籍や住民票発行事務など)と清原市民センターの発行事務手数料の支払についてセミセルフレジを導入。同時に、クレジットカードや電子マネーでのキャッシュレス決済も可能とする。

⑥キャッシュレス決済を利用した消費活性化事業★

1億1,600万円

➡昨年9月、11月に実施した市内小売店等で電子決済(PayPay)した際に30%ポイント還元されるキャンペーンと同様の内容で6月と8月に実施予定。今回はデジタル端末に不慣れな方への丁寧な対応を商工会と実施予定。

⑦市内事業者に対する応援金支給事業★9,185万4千円

➡新型コロナウイルスの影響で売り上げが減少したことにより融資を受けている事業者の返済支援を目的としたもの。申請により1件当たり10万円支給。911事業者を予定。

⑧友好都市喜多方市の農家等の応援事業★ 44万円

➡友好都市の喜多方市は、毎年、うまかんべえ～祭りなどで特産品を販売していたが、イベント中止で販売機会がなくなったため、喜多方市のお米を購入し、市内の飲食店(東大和エール飯参加店舗)に支援品として供給する。

…また、今回の補正予算には上記の主な事業①～⑧のほか、市民体育館に換気のために窓を開けることにより空調効果が低くなることを改善するためにスポットクーラーの購入と、利用券売機をキャッシュレス式自動販売機に買い替えるといった新型コロナ感染症関連の事業も計上されていました。

■ワクチン接種事業について

…前述のとおり、令和3年度一般会計補正予算(第1号)について、多くの議員から質疑が出たのがワクチン接種事業についてです。市議会臨時会が開かれた15日は市報の発行日でもありましたが、その市報の一面には『65歳以上の方へ新型コロナウイルスワクチンの接種券を送付すること』が掲載されており、接種までの流れ(予約方法など)、接種会場が旧みのり福祉園であること、また、接種実施の日時、日ごとの予約受付人数(5月8日～27日は1日あたり280人、5月29日以降は1日当たり560人)などが明記されていました。

…この市報に掲載された基本的なワクチン接種関連の情報以外に、今回の臨時会での議員の質疑で分かったワクチン接種事業の東大和市の状況は以下の通りです。

◆今回接種の対象となる65歳以上の市民は、4月9日時点で約23,000人。

◆先行してワクチン接種ができる東大和市の医療従事者等は約2,000人。5月末までには希望する全員が2回目の接種を終了する予定。

◆“ワクチン接種医療機関等協力金”1,020万円の支給対象は病院1院、診療所32か所の予定。

◆ワクチン接種の進め方については、先行自治体である八王子市(電話とWEBでの予約により早いもの順で接種)と世田谷区(高齢者福祉施設から接種)の方法があるが、八王子市式での混乱や予約者が現れずワクチンを廃棄したなどの問題が報道されたが東大和市は医師会との協議により八王子方式を採用。予約者が現れなかった場合のワクチン活用方法については接種開始までに決定する。

◆東大和市は、接種会場での集団接種と、かかりつけ医などによる個別接種の両方を実施予定だが、まずは様々な確認を行うために、集団接種からスタートする。個別接種については協力医療機関にワクチンの必要数を確認中。

…また、臨時会の閉会后、希望する市議会議員が集団接種会場を見学。そこで気づいた点も担当職員に確認、要望しました。今回のワクチン接種事業のコールセンター、予約システム、接種会場での医療行為以外の業務(案内や誘導など)については、(株)JTBに委託しているとのこと。また、会場となる旧みのり福祉園は、閉園後の活用方法は未定でしたが、今回のワクチン接種においては、大きな部屋が複数あることで医師会からも接種会場としては使い勝手が良いと言われたとのことでした。…私は多くの市民が集まる接種会場での自然災害発生時の避難誘導について確認しましたが、現時点で未定とのこと。ワクチン接種関連のことに目が行きがちですが、多くの市民が集まる場所で準備すべき基本的なことについても確認、準備するように要望しました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『「学校」の外一般社会で挑戦しよう』とベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102